

准教授 小関 久恵 (Hisae Koseki)

研究シーズ

【社会福祉】 【社会】

専門

社会福祉学/ソーシャルワーク

研究キーワード

地域福祉/社会的つながり/住民参加/地域運営組織(RMO)
エンパワメント/社会福祉教育/中山間・離島地域



研究テーマ

地域における社会的なつながりの構築
教育プログラム×地域課題解決

研究の概要

地域における社会的なつながりの構築をテーマに研究および実践を行っています。特に、中山間地域や離島地域をフィールドとして、住民主体の地域運営組織の形成や地域ビジョンの策定を通じた持続可能な地域づくりの伴走支援に注力しています。

また、大学生と地域住民が出会い共創する教育プログラムの設計・展開を通じて、福祉課題を含む多様な地域課題の解決に向けた地域共創活動を実施することで、地域福祉の実践的なモデル構築を目指しています。これらの取り組みにより、地域の社会的なつながりの構築と住民のウェルビーイング (Well-being) の向上に貢献したいと考えています。

これまでの地域連携・共創実践例

山形県酒田市日向コミュニティ振興会（中山間地域）との共創

- 継続的な住民ワークショップによる伴走支援
 - ・地域ビジョン・アクションプラン策定に向けたワークショップのファシリテーター、アドバイザー等、地域運営組織 (RMO) / 農村型地域運営組織 (農村RMO) 形成に向けた継続的な伴走支援
- 大学教育プログラム×地域課題解決
 - ・応用演習科目を通じた防災・減災活動 (防災マップ、防災キャンプ、デジタル水路マップ等) の共創
 - ・長期学外学修プログラム (課題解決実践演習) や専門演習 (ゼミ) を通じた地域理解および地域資源の発見と利活用に向けた検討・提案 など

※応用演習科目や課題解決実践演習は「知の活用と循環」を目指す科目。座学の学びを実践現場で活用し、再び座学で学びながら実践を繰り返す教育プログラム。



セールスポイント

福祉に限定せず、地域全体を捉えて地域の課題と強みを把握することを重視しています。現在は福祉課題を考える上でも地域における多領域への視点の広がりや多業種とのつながりが欠かせません。また、住民参加による地域運営の知見や実績をもとに、住民主体の地域活動や持続可能な地域づくりに向けた相談および提案が可能です。

想定される用途・応用例・活用例

- ・住民主体の地域運営組織の形成支援
- ・地域住民や企業等と学生の共創による地域課題解決プロジェクトの推進
- ・地域福祉をテーマとした政策提言や実践モデルの構築 など